市立池田病院だより

基本理念
創意に富み 思いやりのある 信頼される病院をめざして

第7号
2013年4月発行

病院長就任のご挨拶

病院長　　今井　康陽

平成25年4月1日に病院長に就任いたしました。

私は大阪大学に13年間消化器内科医として勤務した後、当院に平成5年赴任してまいりました。早いもので市立池田病院に勤務して20年以上の年月が経ち、その間病院の新築移転もあり、平成17年からは副院長として勤務してまいりました。高齢化する社会において、地域の急性期中核病院としての役割が非常に重要になって行く中、その責任の重さを強く感じております。

市立池田病院はかかりつけ医の先生方との強い地域医療連携と医療安全を基盤とした良質で高度な医療の提供を目指しております。特に救急総合診療、専門性の高い先進的な医療に力を注いでおります。癌診療においては大阪府がん診療拠点病院として認定され、5大がんである肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がんはもとより、前立腺がん、腎がん、膵臓がん、食道がんなど幅広く高度な医療機器と専門医による診療を行っております。今後もさらなる高度な急性期医療機関として発展していくため、若い人材の育成にも取り組んでいきます。

一方、全国的に進む少子高齢化は、市立池田病院を取り巻く地域においても同様であり、私たちは日常の診療業務を通じて実感しているところであります。老老介護や独居の高齢者、病気を抱えながら生活する方など、病院での治療を終えても継続的なケアが必要となる方はますます増える一方です。今後は、地域全体で患者さまのQOLを支えていくことがますます期待されています。

そこで、市立池田病院は、国が描く地域包括ケア体制の実現に向けた将来構想実現のため、“メディカル・タウン”構想を掲げ、自治体病院として近隣地域を“安心で豊か”なものにすべく、かかりつけ医の先生や病院、施設、各種団体、行政等とのつながりを強め、充実した医療サービスを享受できる街づくりも目指します。
“メディカル・タウン”構想を通じて、地域の住民の方が安心して暮らせる地域医療を確立すべく、創意に富み、思いやりのある、信頼される病院を基本理念として職員一同努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます 。

患者さまの権利

- 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
- 良質な医療を平等に受ける権利があります。
- 十分な説明を受ける権利があります。
- 自分が受ける医療に参加して自ら決定する権利があります。
- 自分が受けている医療について知る権利があります。
- 診療上の個人情報やプライバシーが守られる権利があります。

新任医師紹介

氏名
立石　秀郎
診療科
急病・救急
総合診療科

又又お世話になります。

氏名
酒田　和也
診療科
消化器外科
（大腸）

早く慣れて、質の高い治療を目指したいと思います。よろしくお願いします。

氏名
花房　隆範
診療科
泌尿器科
一般

よろしくお願いします。

氏名
上野　圭司
診療科
小児科

早く仕事に慣れるようにがんばります。

氏名
飛鳥井　慶
診療科
消化器外科

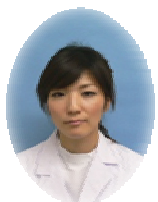
頑張りますのでよろしくお願いします。

氏名
稲垣　裕介
診療科
泌尿器科
一般

よろしくお願いします。

氏名
大森　一生
診療科
内分泌・
代謝内科

よろしくお願いします。



氏名
宮﨑　裕子
診療科
形成外科

よろしくお願いします。

氏名
伊藤　理恵
診療科
産婦人科

皆様のお役にたてるようがんばります。

氏名
渡辺　祐希
診療科
麻酔科

神戸赤十字病院から来ました。少しでもお力になれるようにかんばります。よろしくお願いします。

氏名
亀井　利沙
診療科
皮膚科

よろしくお願いします。

氏名
高嶋　和磨
診療科
整形外科

御迷惑をおかけする事もあると思いますが、宜しくお願いします。

氏名
中井　香奈
診療科
産婦人科

まだまだ未熟ですがよろしくお願い致します。

氏名
小澤　栄稔
診療科
内分泌・
代謝内科

よろしくお願い致します。

氏名
谷　瑞季
診療科
消化器内科

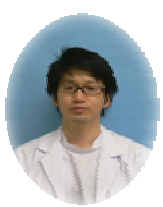
阪大病院で2年間お世話になりました。誠実に貪欲にがんばりますのでよろしくお願いします。

氏名
安岡　秀高
診療科
消化器内科

大阪医大で研修後、こちらへ入職させて頂きました。病棟、処置などガンバっていきますので、よろしくお願いします。

氏名
森　総一郎
診療科
消化器外科

はじめまして。



氏名
富永　佑児
診療科
消化器外科

一生懸命診療させて頂きます。よろしくお願い致します。

氏名
渡邊　卓次
診療科
消化器外科

患者様の支えになれるよう一生懸命頑張ります。

臨床研究管理部の紹介

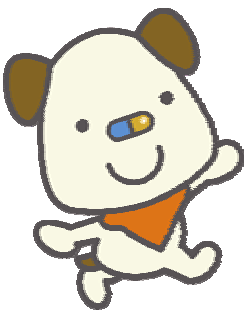
私たちは　臨床研究を支援する部門です。治験コーディネーターとして関わっています。

臨床研究って？？治験（ちけん）って？？

ちけん君

人を対象として行う研究を臨床研究といいます.

病院で使用されているくすりは、すべて厚生労働省から承認されています。承認のために製薬会社が厚生労働省に提出するデータには、その効き目や副作用について調べた結果が必要です。患者さまにご協力いただいて、そのデータを集める臨床研究が治験（ちけん）です。



おくすりとして発売されてからも、組み合わせ方、使い方などを工夫し、患者さまの副作用や負担を少なく効果を最大にする治療法を見つけるために、いろいろな研究が計画されます。多くの患者さまのご協力のもとに医療は進歩していきます。そういった研究を治験と区別して自主臨床研究または研究者主導研究といいます。

人体実験　モルモットじゃないのですか？？

かつて不幸にも人体実験が行われた時代があり、その反省から世界医師会で「ヘルシンキ宣言」という臨床研究をおこなうにあたって必ず守らなければならない倫理基準が作られています。

1　患者さまに十分に理解していただく説明をすること
2　患者さまの同意をいただくこと
3　研究が患者さまの不利益（治療の妨げになる、など）にならないか、研究に関係ない人がチェックすること

当院では、院内の審査委員会で検討し、承認された治験・研究を行っています。
人体実験という言葉は完全には否定できません。医療の進歩のために最終的に患者さまにご協力いただかなくてはならないからです。しかし研究を客観的に検討し、被験者さまがいつでも断ることができるという点がかつての人体実験とは違うところです。

治験（ちけん）コーディネーターって？？

治験は法律に従って作られた計画で進められ、いつ検査をするか、いつ服用するかが決まっています。もし、計画通りに行えないとデータとして使えないこともあり、それではせっかく参加していただいた方の厚意が無駄になってしまいます。

私たち治験コーディネーターは、治験についての説明からスケジュールの管理、被験者さまの不安や質問を解消するための対応、依頼された製薬会社との対応、院内の調整等治験にかかわる業務を行っています。

ちけん君は社団法人日本医師会　治験促進センターのキャラクターです

入院患者さまのための「院内デイ」

当院では、高齢入院患者さまのためのレクリエーション活動を目的とした「院内デイ」サービスを実施しています。
趣味や娯楽を通じて、入院生活が少しでも楽しく過ごせるよう、ボランティアの方々にも多数ご協力いただいています。

ご高齢の患者さまは、生活環境が変わることにより、夜間眠れないなどの不快な症状が現れやすくなります。
日常生活に近い社会体験ができる「院内デイ」は、治療効果にも大きく影響する活動となっています。

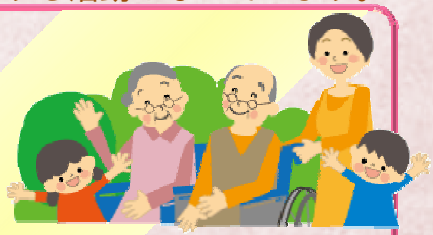
院内デイボランティアさん募集

日時：毎週月・木曜日　午後3～4時

場所：東館２階講堂

募集条件：手品・踊り・楽器演奏・落語などの特技のある方

問い合わせ先：市立池田病院・看護部　渡辺まで



春の食材！！

ふ　き

栄養管理科では端午の節句にお寿司の具材として利用しています。

ふきは数少ない日本原産の野菜のうち、最も古いもののひとつです。
特有の香りと歯ざわりがあります。

患者様へのﾒｯｾｰｼﾞｶｰﾄﾞ

端午の節句

栄　養

カリウム、食物繊維が多く含まれます。
ビタミン類が少なめなので、食材を上手に組み合わせましょう。

選び方（３つのポイント）

①太すぎないもの
（直径２ｃｍほどが目安）
②太さが均一なもの
③鮮やかな緑色

調理のこつ

下ごしらえをきちんとすることがおいしさのポイント。板ずりをすることで、ふきの繊維がやわらかくなり、アク成分がぬけだしやすくなります。塩がついたままたっぷりのお湯で、鮮やかな緑色になるまで数分ゆでます。ゆであがったら冷たい水にとり、しっかり冷やしましょう。

お問合わせ

ご意見箱を院内に設置しておりますので、ご意見ご感想などお寄せくださることをお待ちしております。

〒563-8510　大阪府池田市城南３丁目１番１８号
Tel 072-751-2881(代表)　Fax 072-754-6374
URL http://www.hosp.ikeda.osaka.jp
編集・発行：市立池田病院　広報委員会